

# 木を遺す、木を伝える

— 木製品の調査と保存 —



2021年 3月17日(水)～5月16日(日)

開館時間(完全予約制) / 9時30分～15時30分(3部制)

〔第1部〕9時30分～11時30分 〈入館は11時まで〉

〔第2部〕11時30分～13時30分 〈入館は13時まで〉

〔第3部〕13時30分～15時30分 〈入館は15時まで〉

※ 開館時間は変更されることがあります。  
ご予約時に当館のウェブページでご確認ください。

休館日 月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)

入館料 一般400円 / 高校生・大学生300円 / 小学生・中学生200円

※ 障害者手帳をお持ちの方とその付添の方1人、70歳以上の方、  
京都大学学生および教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料(要証明)

主催 京都大学総合博物館  
京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター  
後援 京都府教育委員会 京都市教育委員会

〈予約に関する問い合わせ先〉  
京都大学総合博物館事務室 075-753-3272  
京都大学総合博物館予約サイト  
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/special/reservation-top/>



# 木を遺す、木を伝える

— 木製品の調査と保存 —



唐古遺跡出土木製高杯（総合博物館蔵）

木は、私たちの身近にある素材として、古くより器物や建築物などに盛んに利用されてきました。しかし、土器や石器などと異なり、埋没環境が整わなければ、年月の経過とともに土中で失われてしまいます。今回の「文化財発掘」では、このような特質をもつ木製の文化財に焦点を当て、関連するさまざまな研究の営みにも目を向けます。

構内の遺跡では、北部構内の地中深くで見つかった縄文時代の低湿地と巨木にまつわる研究、弥生時代や平安時代後期の木製品が出土した岡崎国際交流会館建設地点の発掘調査(2018年)の成果をとりあげます。木製の出土物は、そのままでは乾燥し朽ちてしまうため、薬剤や機器による保存処理が求められます。後世に伝え活かしていくために工夫が重ねられているそれらの手法について、処理の済んだ資料とともに紹介します。

また、総合博物館には、弥生時代の稲作農耕の姿をはじめて世に知らしめた奈良県唐古遺跡の発掘調査(1937年)出土品をはじめ、歴史的に貴重な木製の資料が数多く収められています。先人の努力により守られてきたこれらの資料も、あわせて展覧します。

この展示から、木の文化財の広い世界と豊かな可能性とともに、埋蔵文化財や考古学の調査と研究がもつ、文理を越えた学際的な側面に触れていただけることを願っております。

## 〈関連講演会〉 定員30名(応募多数の場合は抽選)

第1回 2021年5月8日(土) 13:00~15:30

伊藤淳史(文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター)  
「木製遺物の出土とその環境—岡崎地区の発掘調査から—」  
村上由美子(総合博物館)  
「木製品を遺す試み—唐古遺跡と北白川追分町遺跡の資料—」

第2回 2021年5月15日(土) 13:00~15:30

杉山淳司(農学研究科)  
「先人の技に学ぶ木材のひみつ」  
横山 操(総合博物館)  
「樹木・木材・古材—木が遺すもの伝えるもの—」

※会場は両日とも総合博物館2階企画展示室。参加無料ですが(博物館への入館料は必要)、申し込みが必要です。下記の要領でお申し込み下さい。  
なお、特別展以外の観覧をされる場合には別途予約が必要です。

## 〈講演会申込要領〉

往復ハガキまたは電子メールに「文化財発掘 講演会参加希望」と明記し、

- ①参加希望講演会(第1回、第2回のどちらか)
- ②住所 ③氏名 ④電話番号

をご記入の上、総合博物館(住所・アドレスは右下参照)まで郵送ないし送信して下さい。

申し込み一度につき、講演会一回のみ応募可能です。両日とも参加希望の場合、二回に分けてお申し込み下さい。

応募締切 第1回: 4月17日(金)、第2回: 4月23日(金) 必着

※ 申し込み際に、以下の点にご注意ください。

**ハガキの場合:** 返信用ハガキに宛名を予めご記入の上、京都大学総合博物館「文化財発掘 講演会」宛に送付して下さい。

**メールの場合:** 添付ファイルの返信ができない携帯メールからのお申し込みはご遠慮願います。

京大文化遺産調査活用部門マスコットキャラクター  
きよーまーくん



表面写真: 右上から順に

北部構内縄文時代低湿地の調査風景(2009年)

同上、加工痕のある巨木の調査風景

白河街区・延勝寺跡・岡崎遺跡平安時代曲物の調査風景(2018年)

大型真空凍結乾燥機による曲物の保存処理((公財)滋賀県文化財保護協会提供)

保存処理後の出土曲物

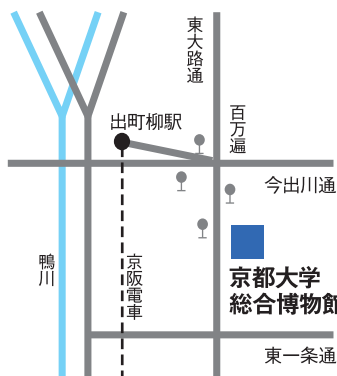
全体背景は、曲物に用いられたツガ細胞の光学顕微鏡写真



唐古遺跡出土磨製石斧と斧柄（総合博物館蔵）



白河街区・延勝寺跡・岡崎遺跡出土木製祭祀具(左)と曲物(右)



## 京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL (075)753-3272  
FAX (075)753-3277  
info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp  
http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/

### アクセス

市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分  
京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分  
※ 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。